令和4年度スポーツ推進計画進捗状況

【基本的施策】1.生涯スポーツの普及と振興

市民の誰もがスポーツを楽しめる機会を提供します。 また、スポーツに関わる市民の拡大を図ります。 さらに、市民が運動に取り組みやすい環境を整備します。

令和4年度の主な取り組み

- ・市スポーツ推進計画の策定
- ・ニュースポーツ体験会、トリプルバレー大会の開催
- ・健康クラブへ活動場所の提供
- ・情報誌「スポーツガイドののいち」の作成及び設置
- ・県内全域をホームタウンとするツエーゲン金沢野々市ホームタウンサンクスデー における市民の試合観戦の無料招待
- ・市民体育館にランニングマシン1台の追加設置(スポーツ振興くじ助成を活用:助成率5分の4)

取り組みの具体例

●市スポーツ推進計画の策定 すべての市民がいつでも、どこでも、 いつまでもスポーツに取り組むことが できる環境を構築し、本市のスポーツ 施策をより一層総合的かつ計画的に実 施するための具体的な実行計画として、 令和4年9月に策定した。

●トリプルバレー大会の開催

令和5年3月12日に市民体育館大体育室で開催し、18チームが80名が参加。市民が気軽に取り組めるニュースポーツの普及を促進した。



●県内全域をホームタウンとするツエーゲン金沢野々市ホームタウンサンクスデーにおける市民の試合観戦の無料招待

プロスポーツを観る機会を提供しスポーツに関わりを持つ市民の増加を推進した。(市民申込数537人:当日約430人と想定される)





野々市市PRブースの様子

施策の評価

成果指標	単位	現状値(R3)	R4	目標値(R13)	評価
市スポーツ教室開催数	回/年	31	32	50	B.概ね順調
市スポーツクラブ登録数	団体	36	36	45	B.概ね順調

施策全体評価

B.概ね順調

※評価は「A.順調」「B.概ね順調」「C.やや遅れている」「D遅れている」の4つとする

【基本的施策】2.スポーツ団体の育成

市民が多種多様なスポーツ活動を行うため、指導者の育成に努めるとともに、スポーツ協会の設立を支援します。

令和4年度の 主な取り組み

- ・北陸地区スポーツ推進委員研修会兼石川県スポーツ推進委員研修会、金沢地区スポーツ推進委員研修会への参加
- ・市スポーツ少年団指導者・保護者研修会、リーダー研修会の開催
- ・暑熱対策講座(市と包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社に依頼)、応急手当講習会の開催
- ・大学と連携した競技力向上に向けた教室の実施(バドミントン・野球)
- ・石川県民スポーツ大会への選手派遣
- ・さわやかスポーツフェスティバル2022、市制施行10周年・第40回野々市じょんからの里マラソン記念大会の実施(スポーツ振興くじ助成活用:助成率5分の4)

取り組みの具体例

●さわやかスポーツフェスティ バル**2022**の実施

3年ぶりに開催となるフェスティバル となり、体験種目12種、競技種目13 種で計1,235人が参加した。



●市制施行10周年・第40回野々市じょんからの里マラソン記念大会の実施

初の陸連公認大会として、また市制施行10周年・第40回記 念大会として実施し、378人が参加した。(R4は一般の部 のみ実施)



大会ゲストの瀬古 利彦氏と 五郎谷 俊氏(野々市市出身) ●競技力向上講座の実施

金沢学院大学と連携し、バドミントン及び野球力の競技力向上を目指した教室を 実施した。

(参加者 計156人)



●石川県民スポーツ大会への選手派遣(冬季大会のみ) 冬季大会に選手を派遣し、競技力の向上を目指した。



施策の評価

成果指標	単位	現状値(各)	R4	目標値(R13)	評価
指導者・市民講習会参加者数	人/年	(R2) 15	49	50	A.順調
県民スポーツ大会参加競技数	個/年	(R1) 39	% 8	46	_

※R4夏季大会は石川県地方豪雨により中止

施策全体評価

B.概ね順調

※評価は「A.順調」「B.概ね順調」「C.やや遅れている」「D.遅れている」の4つとする。

【基本的施策】3.スポーツ施設の利用促進と整備

スポーツ活動の拠点となる施設の環境整備・充実を図り、市スポーツ施設の利用を促進します。

令和4年度の 主な取り組み

- ・市民体育館及びスポーツセンターでのキッズアワー(子ども優先利用時間)の運用開始
- ・市民体育館及びスポーツセンターにおける市民のための一般開放の実施 【市民体育館】毎週木曜日及び第3日曜日 【スポーツセンター】毎週金曜日及び第2日曜日
- ・スポーツランドにおける市民の体力向上及び健康づくりのための無料解放の実施 スポーツの日(市民全て)、毎月第3土曜日・敬老の日(65歳以上)
- ・学校体育施設開放運営委員会及び学校体育施設開放指導員との打ち合わせの実施 及び学校体育施設開放指導員を対象とした学校運動場・体育館安全点検研修の実施
- ・「野々市市体育施設整備実施計画|及び「野々市市公共施設個別計画|に基づくスポーツ施設の計画的な整備 及び改修の実施

【市民体育館】高圧ケーブル更新工事、駐車場白線整備工事

【スポーツランド】テニスコート人工芝修繕 等

取り組みの具体例

●キッズアワー(子ども優先利用時間)の運用開始

令和4年5月より試験的に実施し、令和4年7月より運用を開始した。

市民体育館大体育室及びスポーツセンターアリーナの

半面を、毎週土曜日の午前11時から正午までの1時間を

小学生以下を対象(保護者も可)として利用してもらい、

子どもたちが自由に体を動かす場の提供を行った。



●スポーツ施設の工事・修繕

市民体育館北側駐車場の白線整備工事により、利用者が安全に駐車できるよう環境を整え、 施設利用促進を図った。





施策の評価

成果指標	単位	現状値(R3)	R4	目標値(R13)	評価
市スポーツ施設利用者数	人/年	277,531	327,152	420,000	B.概ね順調

施策全体評価

B.概ね順調

※評価は「A.順調| 「B.概ね順調| 「C.やや遅れている| 「D.遅れている| の4つとする。